

**授業概要**

本講義では、人間と組織との間の相互影響を中心として解説する。組織とは働く組織であり、人が金銭を獲得する組織であり、それによって生活が可能となる組織である。ここにおける相互影響とは、組織が人間に影響を与えるだけでなく、人間が組織に影響を与えることを意味するものである。第 1 回では、組織心理学が何を研究する分野であるのか、何に役立つ分野であるのかを解説する。第 2 回では、どのようなパーソナリティ、すなわち性格(社員、職員だけではなく、顧客も含まれる)が企業組織に影響を与えるのかを確認する。第 3 回では、どのような仕事が職務満足を高めるのか、さらにパーソナリティと職務満足との関係を確認する。第 4 回では仕事へのやる気が何によって影響を受けるのかを確認する。第 5 回から第 13 回まで組織に関連する新しい、さまざまな特徴について解説を行う。アルバイト等では経験できない企業のさまざまな特徴について述べる。第 14 回では組織内にあるデータを統計的な観点から整理する。第 15 回では、全体のまとめを行う。大学の講義としては、経営系、組織系の学部以外では行われることのない(または少ない)科目である。皆さんとよい講義を作り上げていければと考えている。

**授業計画**

|        |                |
|--------|----------------|
| 第 1 回  | 組織心理学とは何か      |
| 第 2 回  | パーソナリティと組織行動   |
| 第 3 回  | 職務満足           |
| 第 4 回  | 仕事への動機づけ       |
| 第 5 回  | 組織コミットメント      |
| 第 6 回  | 組織市民行動         |
| 第 7 回  | 組織ストレス         |
| 第 8 回  | チームの有効性        |
| 第 9 回  | 組織コミュニケーション    |
| 第 10 回 | リーダーシップ        |
| 第 11 回 | 組織開発           |
| 第 12 回 | 情報化とグローバル化     |
| 第 13 回 | ジェンダーと組織       |
| 第 14 回 | 質的データと量的データ    |
| 第 15 回 | 全体的なまとめ        |
| 第 16 回 | テスト(テスト期間中に実施) |

**到達目標**

各回の講義内容を理解してほしい。理解できなければ、質問をしてほしい。講義後でも構わないので、疑問に思えば担当教員まで問いかけてほしい。疑問点はその日のうちに解決しよう。「来週、質問すればそれでよい」と思わないでほしい。理解していることであると思うが、復習は繰り返せば短い時間で済むようになることを肝に銘じてほしい。

**履修上の注意**

積極的な意見、質問を歓迎する。ただし、私語は厳禁。

**予習・復習**

資料を確認し、復習をしてもらいたい。講義の日に必ず復習をすることを忘れずに。

**評価方法**

授業の参加性(60%)とテスト結果(40%)をもとに評価する。

**テキスト**

毎回、A4の資料1、2枚程度を授業テキストとして配布する。復習がしっかりできるように授業テキストは構成する。